

くらしをまもり、未来をつくる

2024 春季生活闘争ニュース

2024. 3. 13 —第6号— 連合北海道 春季生活闘争本部

ヤマ場に突入、回答が相次ぐ

2024 春季生活闘争は3月12日(火)から第1 先行組合の回答が集中するヤマ場を迎えた。物価上昇に負けない賃金の引き上げやその幅が注目される中、中央では、大手企業における満額回答が相次いだ。北海道においてもイオン北海道労働組合では、使用者側が要求額に対して満額回答で応じ(3月4日発行 2024 春季生活闘争ニュース第3号)、異例の早期妥結となっている。

3月13日現在、連合北海道には18産別2地域協議会から194の労働組合が今次春闘にエントリーしており、下記の組合より妥結の報告があった。

連合北海道では、3月末までの先行組合及び中堅・中小集中回答ゾーンの交渉結果が、その後に控える地場組合の闘いをけん引することから、大手組合の大幅な賃金引き上げの流れが中小・地場組合に広がっていくよう引き続き、産別・地域協議会・地区連合と連携を密しながら支援体制を強化していく。

【留萌地域ユニオン】

金額は、組合員一人平均。()内は昨年実績

羽幌福祉分会 <妥結2号>

月例賃金 定昇 3,500 円 + ベア 5,000 円

【全自交北海道】

安全永楽交通労働組合 <妥結3号>

【フード連合】

全日糧労働組合 <妥結4号>

月例賃金 定昇 + ベア 7,164 円 (2,000 円)
総額 10,559 円 (5,500 円)

北海道麒麟ビバレッジサービス労働組合 <妥結5号>

月例賃金 定昇 3,723 円 (1,000 円) + ベア 6,500 円

【UA ゼンセン】

アレフユニオン <妥結6号>

月例賃金 総額 21,496 円・6.54%
 時間給労働者 時給 70 円増・6.34% (時給 50 円増・4.76%)